

一頭でも多く盲導犬を！日本盲導犬協会へ寄贈

神奈川県遊技場協同組合(理事長：伊坂重憲)は、平成26年3月4日、公益財団法人日本盲導犬協会に対して150万円を寄贈しました。

1. 日 時	平成26年3月4日(火)
2. 寄贈式場所	公益財団法人日本盲導犬協会 神奈川訓練センター(横浜市港北区)
3. 寄 贈 先	公益財団法人日本盲導犬協会
4. 寄贈金額	150万円

5. 概 要 盲導犬の訓練には大変な時間、労力に加え費用がかかります。しかしながら、盲導犬の育成には公的な助成はなく、9割は寄付で成り立っています。

このことから、当組合では、盲導犬を必要としている方々に一頭でも多くの盲導犬を届けられるよう寄贈するものです。

寄贈式において当組合の江川明裕副理事長は「本日、実際に盲導犬での歩行を体験しましたが、盲導犬は人の目線で障害物を避けるなどサポート役に徹してくれるため、活動範囲も広がると感じました。多くの方に盲導犬が提供できるよう、育成のため役立ててもらいたいです。」とあいさつしました。

日本盲導犬協会の井上幸彦理事長は「このセンターでは、盲導犬として送り出す訓練を行っていますが、育成には約1年間かかります。訓練を受けた犬のうち、盲導犬として活躍できる犬は3~4割程度です。そのため、育成には大変費用がかかります。一頭でも多く盲導犬として送り出せるよう有効に活用します。」と感謝を述べられていました。

なお、この寄贈に対し感謝状をいただきました。

また、この模様は平成26年3月5日付神奈川新聞、平成26年3月12日付毎日新聞及びタウンニュース神奈川区版及び港北区版平成26年3月13日号に掲載されました。



日本盲導犬協会井上幸彦理事長(写真右)と江川副理事長(写真左)



実際に歩行体験をしました